

令和5年10月 市長定例記者会見概要

- 1 日 時 令和5年10月11日(水) 午前10時00分～
- 2 場 所 あわら市役所 203会議室
- 3 進行要領
 - ・セントピアあわらにおけるレジオネラ属菌の検出について
 - ・あわら市総合防災訓練について
 - ・環境イベント「あわらの海岸をキレイにしよう～海ごみはどこからやってくる?～」について
 - ・「あわら恐竜号、周遊ループバス」の実証運行について
 - ・「あわらアソビピック」の開催について

【 市 長 】

おはようございます。

9月23日(土)から10月1日(日)まで、芦原温泉駅周辺において北陸新幹線関連のイベントが多数開催されました。

9月23日(土)には、新幹線電気・起動総合検測車「イーストアイ」が福井県を初めて走行し、芦原温泉駅において、杉本県知事をはじめ多くの来賓ご参加のもと、華々しく歓迎式典が開催されました。同日、新幹線芦原温泉駅の東口と西口をつなぐ東西自由通路の開通式も執り行いました。

また、翌日の9月24日(日)には新幹線開業半年前イベント、さらに10月1日(日)には、実際の新幹線車両「W7系」を芦原温泉駅に迎え入れる歓迎セレモニーを開催しました。

半年前イベントや歓迎セレモニーには、あわら・坂井の両市をはじめ大変多くの方にご参加いただき、北陸新幹線歓迎ムードの盛り上げを、改めて実感いたしました。

今後は、開業日に向けてより一層の機運の醸成に努めてまいります。

セントピアあわらにおけるレジオネラ属菌の検出について

それでは、初めにセントピアあわらにおいて発生したレジオネラ属菌の検出について申し上げます。

この度は、市の施設において、このような事態が起きてしまったことについて、市民の皆さま並びに関係者の皆さまに対し、ご迷惑、ご心配をおかけいたしました。

セントピアあわらは、指定管理制度により越前健康開発有限会社に運営を委託している施設となっています。

レジオネラ菌検出から本日までの経緯について申し上げます。

9月13日（水）に、福井県坂井健康福祉センターが、当施設の水質検査を実施し、同月25日（月）の検査結果により、基準値の2,300倍のレジオネラ属菌の検出が判明いたしました。

菌が検出された場所は、地の湯の「低温浴槽」で、地の湯の「高温浴槽」および天の湯の「内湯」、「外湯」からは菌は検出されませんでした。

この結果を受け、当施設は25日の結果判明直後に低温浴槽のお湯を抜き利用停止措置をとった上で、26日（火）の休館日を含め、27日（水）以降全館営業を休止しております。

菌が検出された原因調査の結果、レジオネラ属菌を滅菌する塩素系薬剤注入機の不具合により、地の湯の「低温浴槽」の配管に塩素系薬剤が注入できていなかったことが判明いたしました。このことにより速やかに注入機を交換いたしました。

注入機交換後の27日（水）に、指定管理者により改めて地の湯「低温浴槽」の水質検査を実施した結果、10月4日（水）に「菌不検出」の報告を受けました。さらに、同日4日（水）に地の湯「低温浴槽」も含め、菌不検出であった3か所すべての水質検査を行い、現在結果待ちの状況です。

なお、菌検出判明後、市は指定管理者である越前健康開発有限会社に

対し、今後このような事態を起こさないよう業務の改善を求め、昨日10日（火）に指定管理者から改善報告書が提出されました。

現在、指定管理者は福井県坂井健康福祉センターとも業務改善について協議中であり、市としましても、同センターとともに状況を確認しながら、セントピアあわらの営業再開に向けて調整しております。営業の再開につきましては、マスコミの皆さまに改めてお知らせいたします。

最後に、当施設の営業休止期間中は、セントピアあわらが発行する定期券の利用者を対象に、代替施設として入浴ができるよう芦原温泉旅館協同組合加盟旅館をはじめとする10施設が浴場を開放していただきました。各旅館のご厚意に深く感謝申し上げます。

あわら市総合防災訓練について

次に、11月5日に予定しております「あわら市総合防災訓練」について申し上げます。

この訓練は2部構成となっており、第1部では、午前7時にあわら市内で最大震度6強の地震が発生することを想定し、市民全員を対象に、区民館など一時避難場所までの避難・安否確認等を行います。

第2部では、中央公民館において合同防災訓練を実施します。金津地区住民の皆さまなどにご参加いただき、土のう積みや転倒家具からの救助等を体験していただくとともに、災害時応援協定事業者等による展示を行います。

この訓練を通じて、市民の皆さまが防災について考えるきっかけとなり、より災害に強く、安全かつ安心なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

環境イベント「あわらの海岸をキレイにしよう～海ごみはどこからやってくる？～」について

次に、11月3日（文化の日）に波松海岸で開催される「あわらの海岸をキレイにしよう～海ごみはどこからやってくる？～」についてお知

らせします。

この催しは、あわら市の海岸の現状と海ごみについて考えていただくことを目的として、海ごみについてトンカンテラス代表の黒田さんからお話しをお聞きした後、参加者全員での海岸清掃を予定しております。

また、今年は福井県の協力を得て、参加者の皆さまにボランティアポイントとしてデジタル地域通貨500ポイントの進呈を予定しております。このような取り組みは、現在あわら市と池田町の2自治体のみであり、DXの一環としてさらにデジタル地域通貨との連携事業を広げていきたいと考えております。

定員はなく、参加費は無料となっておりますので、市内外の多くの皆さまにご参加いただき、環境について考える機会としていただきたいと思いますと考えております。

詳細につきましては、別添しておりますチラシをご参照ください。

「あわら恐竜号、周遊ループバス」の実証運行について

次に「あわら恐竜号、周遊ループバス」について申し上げます。

この取組みは、来年3月16日の北陸新幹線開業に向けて、周遊観光の促進や二次交通の充実を図るため、県があわら温泉と福井県立恐竜博物館を接続する直行バスを実証実験として運行するものです。

このバスは恐竜博物館を楽しんだ後に、周遊ループバスとして越前大野城、一乗谷朝倉氏遺跡、大本山永平寺の人気観光地にアクセスすることもでき、お得に周遊観光を楽しむこともできます。

あわら恐竜号の運賃は、片道で中学生以上のおとな2,000円、小学生のこどもが1,000円となっており、また、周遊ループバスはおとな1,000円、こども500円となっております。

7月にリニューアルオープンし人気沸騰中の恐竜博物館とあわら温泉の直通バスは双方の集客や利便性の向上につながるものと期待しております。

あわら温泉にお泊りの際は、ぜひこのバスを利用していただきたいと思いをします。

「あわらアソビピック」の開催について

次に、アフレアにおいて開催される、10月のイベントについて申し上げます。

10月21日(土)、22日(日)の2日間、未就学児や小学生向けの遊びのイベント「あわらアソビピック」を開催します。

このイベントでは、市内の遊びスポット「北潟湖畔公園」、「あそぼっさ」、「新郷小学校」で体験できる「巨大トランポリン」や「おもしろ自転車」などの人気コンテンツや、「カヌー」、「スケートボード」、「ニュースポーツ」など、初めての方にも楽しんでいただける企画を数多く用意しております。

22日(日)には、スペシャルゲストとして、元Dragon Ash(ドラゴンアッシュ)のダンサーDRI-V(どらいぶ)さんをお招きして、かっこいい「リズム遊び」が実施されます。この他、「赤ちゃんハイハイレース」などの催しもありますので、小さなお子様がいらっしゃる方も是非アフレアへお越しくださいますようお願いいたします。

私から皆さまにお伝えするのは、以上でございます。

※次回の市長定例記者会見は、11月6日(月)午前10時から予定しております。